

安心して入学を迎えるために 家庭でも心がけたいこと

お子さんが安心して楽しく小学校生活をスタートできるように、園も小学校も様々な工夫をしています。ご家庭でもお子さんの成長を温かく長い目で見守りましょう。たくさんの遊びや生活の中から多くのことを経験させたいですね。

心の安定を

ありのままの自分が受容され、安心して自己を発揮する中で、自分のよさに気づき、好きなことや得意なこと、できることが増えていきます。無条件に愛されることにより、自分を大切にすることが育まれます。



見守る・認める

小さな失敗を重ねながら、自ら考えチャレンジする姿を見守られ、認められることで、自己肯定感が育まれていきます。お手伝いなど身の回りのことをしようとする中で少しずつ成長していく姿を逃さず、感謝したり褒めたりすることで自信につながります。



早寝・早起き・朝ごはん

生活リズムが整うことで、学習や運動に向かう気持ちや自分のことは自分ですといった自立に向かう気持ちが育ちます。脳や体のエネルギーの源になる朝ごはんを食べることで、一日を元気に過ごせます。



あいさつ・返事

人と人との関係づくりの第一歩です。大人の姿を見ながら、こどもたちも自然にできるようになります。あいさつは仲よくなれる魔法の言葉です。



たくさん話そう

こどもの話を最後まで真剣に聴くことで、言葉を通して気持ちや思いを伝え合う力が育まれます。困ったときに困ったことを言うことも大切です。



たくさん遊ぼう

夢中になって遊ぶ中に、たくさんの学びがあります。遊びや生活を通して、小学校生活につながる「生きる力」の基礎が培われていきます。

体を動かす遊び、自然体験などをご家族と一緒に楽しみましょう。



乳幼児期は、生涯にわたる 人格形成の基礎が培われる時期です

こどもは、遊びや生活の中で周囲の人、もの、出来事に自ら進んで関わりながら、豊かで多様な体験を通して、様々な『学びの芽』を育んでいます。

こどもが楽しんでいることやこだわっていることなどについて、関心をもって見てみましょう。



こどもの世界をのぞいてみよう

0歳児



安心できる環境の中で、一人ひとりのこどもが自分でやってみようとする気持ちを尊重しながら場と時間を保障することで、興味・関心が広がっていきます。

1歳児



こどもが他者と関わる過程で、大人がこどもの思いを受け止め、時には気持ちを言葉にしてあげること、様々な人と関わる力が育ってきます。

2歳児



友達とやり取りする場や時間を保障することで、新たな気付きや葛藤、心の揺れを通じて、協同性や社会性が大きく育っていきます。

3歳児

4歳児



こどもの主体性を尊重することで、こども自身が「やってみよう」「はてな？」を解決しようとする意欲が高まっています。

5歳児

実際の遊びの様子はこちら

<0～1歳児>



「できたよ」「上手だね」

<2～3歳児>



「見て!」「楽しいね」

<4～5歳児>



「一緒にやろう!」

こどもをまんやかに
みんなでつながる
ともに未来をつくる

発行：秋田県人口戦略部・秋田県教育委員会
問い合わせ先：秋田県人口戦略部こども支援課
TEL：018-860-5126
E-mail：kodomo@pref.akita.lg.jp



新1年生の
保護者

就学前教育・
保育施設
教職員

小学校等
教職員

自治体の
方々

就学に関わるみなさまへ

育ちと学びも 未来につなぐ

もうすぐ
1年生



秋田県人口戦略部・秋田県教育委員会

わか杉っ子元気に！ネット
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/77520>



保護者のみなさま こんな不安はありませんか？

ひらがなが書けないけれど…いいのかな？

友達ができるかしら？

安全に登下校できるかな？

給食を残さず食べられるかな？

座って先生の話を聞けるかな？

遊びの中で芽生えている文字や数への関心を学習につなげます。

これまでの人と関わる力を基盤にしながら、友人関係が広がります。

園・学校・保護者と連携して、身の回りの安全に対する意識が高まるようにしています。

給食を楽しく食べられるように、様々な工夫をしています。

周りのものや人への興味・関心の高まりが、お話を聞くことにつながります。

乳幼児期の育ちと学びが小学校以降での学びや生活の基礎につながっています！

0 歳…

5 歳児

架け橋期

小学校
1年生

…18 歳

遊びを通して学ぶ時期

教科等の学習を通して学ぶ時期

【乳幼児期の教育・保育において育みたい資質・能力】

【育成を目指す資質・能力】

知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする

思考力、判断力、表現力等の基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする

知識及び技能

何を理解しているか、何ができるか

思考力、判断力、表現力等

理解していること・できることをどう使うか

学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

興味・関心
何だろう
おもしろそうだな

協同的な遊び
こうしよう！いいね！
一緒にやろう

好奇心・探究心
どうしてかな？
調べてみよう

協働的な学び
みんなで考えを
出しよう！

試行錯誤
どうなるのかな？
次はこうしてみよう

言葉による
表現・伝え合い
いいこと考えた！あのね…
それっていいね

試行錯誤
いろいろ試してみよう
比べてみよう

目的や状況に
応じて表現
こんな方法で
表してみよう

葛藤・折り合い
もっとやりたいのに…
どうしたらいいのかな

挑戦
やってみよう
もっとやってみたい

自律的に調整
きまりやルールは
大切なんだね

挑戦
最後まで
あきらめないぞ

架け橋期のカリキュラム 作成・実施・評価・改善

〈0歳～18歳までの育ちと学びの連続性〉 資質・能力の3つの柱は、乳幼児期から18歳まで一貫して育成されています

遊びは学び。自発的な活動としての遊びや生活を通して、人、もの、出来事に関わった経験が、小学校生活の基礎となります。

乳幼児期にふさわしい遊びや生活を通して、この時期ならではの資質・能力を育み、小学校での学びや生活につながるよう指導計画に基づいた教育・保育が行われています。

生活や学びが変わっても、乳幼児期に身に付けた力を生かし自信をもって過ごすことができるように、入学当初の学校生活はスタートカリキュラムから始まります。

スタートカリキュラムは、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた育ちと学びを基礎として、安心して学校生活をスタートさせ主体的に自己を発揮していくためのカリキュラムです。